

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定に係る事業)

平成29年2月1日

協議会名:八街市地域公共交通協議会

評価対象事業名:地域公共交通調査事業(計画策定事業)

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通網形成計画等の計画策定に向けた方針
<p>平成28年3月に策定した「八街市地域公共交通網形成計画」を受けた実施計画案の作成に向けて、下記の業務を実施した。</p> <p><b>【業務内容】</b></p> <p>(1)市コミュニティバス運行ルート・ダイヤ再編調査業務</p> <p>①JR、民間路線バスとの乗り継ぎ調査 ②運行ルート道路状況調査 ③運行ルート・ダイヤの作成</p> <p>(2)JR八街駅利用状況調査業務</p> <p>①JR八街駅南口・北口バスターミナル利用状況調査 ②JR八街駅南口・北口一般車両利用状況調査</p> <p>(3)グループタクシー事業調査業務</p> <p>①利用者推計調査 ②利用者推計調査結果をもとにした運行経費、公的負担額のシミュレーション調査 ③グループタクシー導入計画策定部会の参加、支援 ④グループタクシー導入計画案、導入計画におけるロードマップ、役割分担毎の作業分解図の作成</p> <p>(4)地域公共交通再編実施計画策定業務</p> <p>①地域公共交通再編実施計画のとりまとめ ②計画書のとりまとめ、成果品印刷</p> <p>(5)八街市地域公共交通協議会及び住民説明会の開催</p> <p>①協議会(4回程度)を開催する際の運営支援、書面開催をする際はその支援 ②パブリックコメント支援 ③住民説明会(1回程度)を開催する際の支援、参加、議事録作成</p> <p>(6)その他</p> <p>①公共交通不便地域の基礎資料の作成</p> <p><b>【結果概要】</b></p> <p>・業務(1)市コミュニティバスの運行ルート・ダイヤ再編調査業務について、①及び②を実施し、③市コミュニティバスの運行ルート・ダイヤの作成のための基礎資料とした。業務(2)JR利用状況調査業務について、①、②により、八街駅における人の流れを調査した。また、八街駅南口にコミュニティバスのターミナル機能の移設のためのバスの配置案を作成した。業務(3)グループタクシー事業調査業務について、郵送によるアンケート調査を実施し、利用意向及び公的負担額のシミュレーションを実施した。以上の調査業務により、「八街市地域公共交通再編実施計画(素案)」を作成した。</p> <p>・上記事業を協議するため、八街市地域公共交通協議会を3回開催し、他に書面開催を1回開催した。</p>	<p>業務が計画どおり適切に実施された。</p> <p>A</p> <p><b>【未実施の事項の今後の予定】</b></p> <p>2月に計画(案)についてパブリックコメント及び住民説明会を実施し、3月に5回目の協議会を開催し、計画の策定を見込んでいる。</p>	<p>平成29年10月を目途に市内循環バスのターミナルを市の中心核であるJR八街駅に移設し、民間路線バスとターミナルを共有することにより、公共交通機関同士の乗り継ぎ強化、また、利便性の向上を図るとともに、市の中心部に市民を集め、まちの賑わい創出に繋げる。</p> <p>ターミナル機能の移設に併せ、再編実施計画に沿って、市内循環バスの運行ルートを再編し、幹線を走る民間路線バスと支線を走る市内循環バスの役割分担を明確化させる。市内を4つの運行エリア(東・西・南・北)に区分し、車両5台による運行から4台による運行に変更する。これにより、現在の複雑な路線から、市民にとってわかりやすい路線に再編するとともに公共交通機関同士の乗り継ぎに配慮した運行ダイヤを設定する。</p> <p>地域間または、地域内の幹線系統の移動を支える民間路線バス会社の役割は重大であるため、事業者と調整をしながら、路線及びサービスの確保、維持、充実を図っていく。</p> <p>高齢者等の移動手段を確保するため、地域の住民がグループでタクシーを利用する際に支払う運賃の一部を助成するグループタクシー(相乗りタクシー)制度の導入する。地域の住民が声を掛け合い、共同でタクシーを利用することを通して、地域のコミュニティ形成を目指す。</p>